

# **Biz Browser Mobile** for Windows

Ver.3.2.2

## 1. Biz/Browser Mobile for Windowsについて

このアプリケーションはBiz/Browser Mobileと同等の実行環境をWindows上で再現し、さらにBiz/Designerとの連携によりデバッグ環境を提供するものです。

Biz/Designerのオプション、「Biz/Browserのパス」へこのexeを指定することによりWindows上でBiz/Browser Mobileの開発、およびデバッグ、テストを行うことができます。  
PC版Biz/Browserと同様に、ブレークポイントの設定、ステップ実行、変数の参照、イベントトラッキング、プロファイリングなどの機能が使用できます。

## 2. 動作環境

### OS

Windows 2000 SP4、Windows XP SP3(32bit)、Windows Vista SP1(32bit)、Windows 7  
各OSともInternet Explorer5.5(SP2)以上がインストールされていること  
.NET Framework 2.0以上がインストールされていること

### 推奨スペック

CPU Intel Pentium 400MHz以上、または互換性のあるマイクロプロセッサ  
RAM 128MB以上

## 3. 実行ライセンスに関して

モバイル端末版Biz/Browser Mobileと同様にサーバーアクセスライセンスをインポートすることができます。

またPC版Biz/Browserと同様にライセンス登録済みのBiz/Designerが存在する場合、デバッグ用フルアクセスライセンスが付加されます。

## 4. モバイル端末版との差異

### a. メニュー

メニューに「端末」という項目が追加されています。このメニューより様々な端末のエミュレートを行うことが出来ます。

#### 縦横切替

縦横切替機能を持つ端末をエミュレートします。トグル動作で画面サイズを切り替えます

#### 互換モード

後述

#### プロファイル一覧

デフォルトとしてGeneric WindowsMobileおよびGeneric WindowsCEのプロファイルがプリセットされています。

プロファイルの追加方法に関しては後述します。

### b. フォントによる差異

モバイル端末で使用されるフォントとWindowsで使用されるフォントに差異があるため文字の表示幅がWindows上と実端末で一致しません。

デザイン、レイアウトはこの差異に注意する必要があります。

### c. ShowMenuメソッドの動作

ShowMenuメソッドの動作がモバイル端末版と異なります。

メニューバーは非表示になりません。その代わりにプロファイルに従いメニューバーやタスクバーの高さの分画面の縦方向の幅が大きくなり論理的に端末の画面サイズをエミュレートします。

### d. タップ&ホールド

タップ&ホールド操作は実装されていません。右クリックによって直接RClickedイベントを発生することで代替してください。

**e.バージョンエミュレーション**

[端末]メニューの互換モードで旧バージョンを選択することによりエミュレーションモードになります。実装オブジェクト、プロパティなどほぼ旧バージョンと同様の動作をエミュレートします。V2エミュレーションモードでは、フォルダやUserAgentもV2を摸しますがレジストリへの状態の記憶のみV3モードと共通になります。

**f.ExternalObjectと.NET Framework**

Biz/Browser Mobile for Windowsでも端末版と同様にExternalObject経由の.NETオブジェクト呼び出しに対応しています。

ただし、呼び出し対象は.NET Compact Frameworkではなく、PC版の.NET Frameworkになりますのでアセンブリ、実装クラスや動作に差異がある場合があります。

**g.複数同時起動と/forceオプション**

端末版では複数同時起動は抑止されていますが、Biz/Browser Mobile for Windowsではデバッグ用途に使用するという前提のため複数同時起動が可能になっています。

そのため端末版で有効な/forceコマンドラインオプションは無効になります。

**5. 端末プロファイルの追加**

settings.v3¥profileフォルダにXMLファイルを追加することにより端末プロファイルを追加することが可能です。

XMLファイルは一般的なテキストエディタで作成できますが、Biz/Designer Mobileを使用するとGUIで作成することが可能です。

**XMLサンプル**

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<profile xmlns="http://www.axissoft.co.jp/biz/mobile/profile/1.0/" version="1.0.2.0">
  <name>AXISSOFT Mobile Emulator</name>
  <os type="WindowsMobile" version="5.0" />
  <verticalsize width="236" height="296" />
  <horizontalsize width="290" height="194" />
  <commandbar height="26" />
  <direction initial="vertical" changeable="true" />
  <showmenu mode="15" />
  <font standard="M S P ゴシック" fixed="M S ゴシック" />
</profile>
```

タグ名	属性	説明
<profile>		固定値
	version	端末プロファイルのバージョン
<name>		任意のプロファイル名、この名称がメニューに表示されます
<os>type "		WindowsMobile"または"WindowsCE"
	version	"4.2", "5.0" . . .
<verticalsize>		縦方向の画面サイズ(Formの最大値)
<horizontalsize>		横方向の画面サイズ(縦横切替サポート時)
<commandbar>height		WindowsCE: コマンドバーの高さ WindowMobile: タスクバー、およびコマンドバーの高さ
<direction>		画面切替設定
	initial	vertical=初期縦画面、horizontal=初期横画面
	changeable	true、false縦横切替機能の有無
<showmenu>mode		初期時のShowMenu関数実行値
<font>		FontFaceプロパティで使用されるフォントを指定
	standard	FontFace=\$STD時のフォント名
	fixed	FontFace=\$FIXED時のフォント名

**バージョンエミュレーションと端末プロファイルのバージョン**

V3.1.0にてShowMenuの動作が変更されたため、対応した端末プロファイルのバージョンも"1.0.1.0"に変更されました。

互換性維持のため従来のバージョン1.0.0.0のプロファイルも使用できますが、以下のルールで値が変換されます。

プロファイル "1.0.0.0"	ShowMenuの値は+12(root.SIPBar+root.TaskBar)されます。 WindowsMobileではCommandBarの値は無視され固定値26と見なされます
プロファイル "1.0.1.0"	WindowsMobileでCommandBarの値が有効になります

## 6. 制限事項

### Windows Vista以降のOSでの利用について

以下の機能について、Windows Vista以降のOS上で他のWindowsと挙動が異なる、あるいは正常動作しない事が確認されています。これらの機能についてはWindows Vista以降ではご利用になれない、または正常に動作しませんのでご注意ください。

#### (1) フォントの差異について

Windows Vista以降と以前のOSで、フォントの表示結果が異なる場合があります。

詳細は「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」を参照ください。

URLは以下です。

[http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp\\_font/default.msp](http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.msp)

#### (2) キーボードフォーカスについて

まれに画面上からキーボードフォーカスが失われることがあります。マウスのクリックによりフォーカスを再設定することで復帰します。

### Windows XPでのご利用について

#### (1) デスクトップテーマをクラシックに設定した上でご利用ください

Windows XPテーマで利用する場合、次の障害が確認されています。

- ・極まれに、スクロールバーをマウスで操作することができない状態になることがある。

この問題についてのマイクロソフトサポート技術情報 文書番号：KB867602

#### (2) 「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」をオフでご利用ください

画面の効果より、「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」のチェックをオフにした状態でご利用ください。オンの状態の場合、次の障害が確認されています。

- ・ウィンドウをドラッグ操作した際に、そのウィンドウの下に重なったウィンドウの一部の領域が正常に更新されず、白い線のような跡が残る場合がある。

#### (3) その他ご注意

次のような障害が確認されていますが、マイクロソフトが提供する修正パッチにより解決する場合があります。

- ・IME入力中にF5キーで文字コードを入力する際、入力途中の未変換の文字が消えることがある。また、カーソルが表示されなくなることがある。

この問題はマイクロソフト社より「『該当するコードが存在しない文字コードを入力する』という操作が本来のOSの動作からすると、想定外の動作であるため、想定外の動作に関しては、動作保証・対処について提示することが出来ない。」との回答を提示されています。